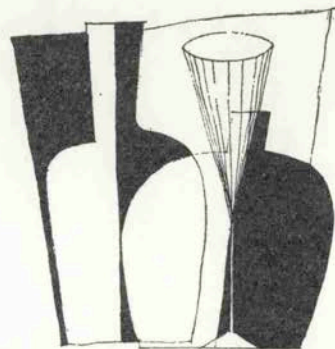


随想三題



カット／大平和朗〈ゼロの会〉

冬と酒

浜崎素粒子

〈俳句〉



酒という言葉自体には、季節の感じはないけれども、日本酒となれば話は別だ。もっとも最近では冷酒とか、オンザロック用の日本酒が若者にも人気があるが、何といても、酒はやはり冬のものである。寒風に吹かれてきて戸を一枚開けたとき、そこに熱燗がある。これは運動をし終えたあとのビール

ルと同じ効用があるが、友との語り、労のねぎらい、わびしさなどの点で酒にまさるものはない。

父は体の具合から洋酒党だが、ついほくの日本酒の方に手がでて、結局はせっかくの氷も解けるにまかせることになる。これは単調なグラスよりも、変化に富んだ盃のせいかも知れない。機会ある毎に集めてきた盃が二百種以上もあり、気分的にも楽しい。何しろもうすぐ九才になる長男が、油断しているとあっという間にかすめてしまう。

「やっぱり酒は冬がうまいなあ」と結構わかったような表情で二、三杯はやられることがある。七才と三才の娘まで真似るから、

たまったものではない。妻は全然下戸だから、全部ほくに似ているらしく、我が家は将来酒でつぶれるのではないかと心配だ。

風邪でうなづいていても、これだけは体にいいと玉子酒や生姜酒を飲むから、酒なくして何の人生ぞというほどのこともないがそれになりに近似している。

俳句の方では、松葉酒、霧酒、糟湯酒などみな冬の季語だが、寝酒もそうだ。ただし甘酒だけは、熱いのを吹きながら飲んで、逆に暑さを忘れさせるからというので夏の季語になっている。これも夏の一つの風物だなどというところ、古い奴だと思われる。

甘酒にあやかかってほくは真夏でも熱燗をやることもある。余程調子の良い時か悪い時のいずれかで良い時はそのまま接続し、悪い時は良くなるだろうという希望があるからだ。

このところずっと日本酒の他にパーボンが好きになってきている。「アメリカ生活からの習慣だろう」などと父からもひやかされるが、そんなきざな動機ではない。パーボンにはスコッチにない甘い香りがあり、ロマンチストの片隅に連座した気分になれる（これの方が余程きざかな）。それにハイカラなパーヤスタンドでは熱燗は様にならない。暖房のある部屋では洋酒

の方が役者は上で、生活様式の西洋化から日本酒の土俵は狭くなっている。

隙間風が吹き込んでもいい。戸がガタピシ泣いていてもいい。そこに日本酒の熱燗があれば。そして蟹場蟹の身をほぐしながら一杯やれたら申分なし。

海汚れても一月尽の夕日かな

酒と女

とはいつても……

伊藤寿美子

〈白鶴酒造K.K.研究室員〉



「どこにお勤めですか」と聞かれて、私が「酒造会社です」と答えますと、ほとんどの男性は、最初、さもどろいたといわぬばかりに目を大きくひらいて、その次にはいかにもうらやましそうに「いいですなあ」とおっしゃいます。左党の方にとって、酒が生活の中で非常に大きなウエイトを占めている事を、そのたびに感じるのです。

女ばかりの家庭に育った私にとって、今の会社に入るまでは、酒は「きちがい水」という印象の方が強かったものですから、お酒の

さまざまなあじわいがわかってくるまでにはかなりの期間が必要だったわけです。けれども今では下戸の方がおきのどくだなあと思うほどお酒のファンになったのですから、大変なかわりようです。

酒という伝統的な商品から連想して、酒屋といえは、瓦ぶきの屋根に白い壁、大きな木の樽、また酒造り唄に合わせて仕込みに精を込めた蔵人といったイメージをお持ちの方が多いかと思いますが、今日、酒造技術の進歩と共にほとんどの作業が機械化され、コンクリート造りの工場全体を冷房して夏も酒を造っている四季醸造工場が増えてきております。自らを通をもつて任じておられる方々の中にはこのような潮流に批判的な向きがあります。だからといって昔ながらの人手のかかる酒づくりをやっていたのでは、酒が庶民の手の届かない高価なものになってしまふのです。

とはいつてもご安心ください。伝統の中にはぐまれた酒の味はそっくりそのままうけついでいるのです。

時には私達のような科学的な立場に立つ技術者と経験豊かな杜氏さん達とうまくいくのかしらと心配して下さる方が多いのですが、互いの意見を参考にして、慎重にテストをくり返して、酒を造って

いくのです。どの杜氏さんもやさしいおじさんばかりです。

一方、私の研究室がある近代的な四季醸造工場は20才代の若者ばかりで酒造りをやっております。もちろん全員がその道のスペシャリストで、現場の経験のない私の方が、教えてもらうことが多いぐらいです。

昨年から研究室が独立しまして、私も微力ながら酒の味に大きく関係すると考えられる酵母について研究しております。酵母—これが、米と水から酒をつくる一番大切な微生物で、顕微鏡でのぞきますと、ダ円又は円型の細胞、親から離れられなくてくっついたままの細胞(丁度親亀の上に子亀の乗った感じ)が無数にウロチヨロしています。おもしろいことに、酵母について子供の細胞の事を娘細胞といつて、けつして息子細胞とはいいません。酵母の世界は女系家族でしょうか。もちろん実際には人間のように性別はございません。酵母の研究と申しましても広うございます。大きな山をありがくずしているようなものですから、いつになつたら山がくずれてくれるやら、気の長い話です。女性である以上勉強時間や体力の点でハンディがあります。仕事に対する熱意だけは負けないうもりです。

ひとりぼっちの祈り

中村仁策

〈神戸中央合唱団指揮者〉



近代美を誇る新装なった福岡市民会館へ、全国九地区より選ばれた四十六の合唱団。恒例の全日本合唱フェスティバルだ。

十一月二十二日は既に高校の部のコンクールは終り、その結果、東北の二校と共に、神戸高校合唱部が見事金賞を射とめた。私たちが神戸中央合唱団には神戸高校のOB、OGがたくさんいるので大喜び。さて二十三日、大学の部の職場の部とプログラムが進み、いよいよ私たち一般の部だ。しかも私たちはトップに歌わされるはなはだ不利な条件だ。

開演のベルが鳴った。ベースの一番右端、岩井さんより一列に、晴れのステージへ出て行く。ソプラノ最後尾のマルチャンに続いて、伴奏者・健（私の息子）も出ていってしまった。一人残された私はもう一度、頭のテッペンから足つま先まで服装の点検をすませ、首に綱つけて引っ張られるよ

うな気持で、指揮台へ立った。七〇人団員の端から端まで見渡したが、みんな完全に落着いている。そして、笑を^こえしている。

中央最後列にいるマネージャー藤原さんと副指揮者根津君に「さあ、やるぞ」と目くばせしたら、「さあ、どうぞ」とばかり、ウインクが返されて来る。伴奏者・健と目が合った。アウンの呼吸よろしくさっとタクトを下ろす。

きれいな！

合唱組曲「日曜日ーひとりぼっちの祈り」。一小節を、右手は三拍子、左手は二拍子のはずむような短い前奏に続いて、「お父ちゃん、早よ起きや、ええ天気やで……」と、おどけた愉快な関西弁の曲が進むに連れて、客席の方からかすかな笑いが起こる。

曲は一転、「けど、もうお父ちゃん、お母ちゃんいてへん」飲酒運転で事故死した両親、残されたひとりぼっちの子供のモノロッドと祈り。母親に連れられて、デパートの屋上で楽しく遊ぶよその子を見て、「うらやましてあらへんわい」と懸命に否定、やせ我慢もついに限度が来て、半泣きになつて、最後に絶叫するフォルテシモの不協和音で終った。いや終ったはずだった。ところが、その不協和音がワーンと場内すみずみにまだ漂っている。健がピアノのペ

ダルを踏んでいるので、皆の声が開放された弦に見事に響きを与えていたのだと、あとで判った。

何秒か、いや、十何秒か、場内全ての空間が、ビーンと張りつめた静寂がすぎ、私がゆっくり客席に向って一礼したとき、初めてどよめきと拍手がわき上がった。

◇ ◇

全団体の演奏も終り、審査のため長い休憩。実は、私達夫婦は場内の緊迫感の重苦しさには耐えられないので、人数まばらなロビーに居た。スピーカーは次々に、大学、職場の、金賞、銀賞、銅賞の団体を告げていく。「一般の部、金賞、関西代表、神戸……」ガラーンとしたロビーで私等二人は飛び上がった。きつと「ワーツ」と叫んだに違いない。うす暗い通路の階段をけつまずきながら、会場内にとびこみ、うちの連中、どこにいるか探すまでもなく、あちこちから握手攻め。

私と健が記者会見のため皆よりおかれて某ビアホールへかけつける。苦しかった何カ月かの練習。この曲の作曲者蓬萊泰三氏作詞者南安雄氏への感謝。コーラスを通じて人間関係の暖かさをしみじみかみしめながら祝杯をあげた私達は、つくづくコーラスにうちこんで来たことが、どんなに私達に幸せをもたらしているか味わった。

□ある集いその足あと

メルヘン アルパイン スキー・グループ

三輪文一（学生）



梅池高原スキー場で、生徒を教える古川幸義君

我々のメルヘン・アルパイン・スキーグループは県立芦屋高等学校のOBが中心になり「山とスキーを通して、自然に親しもう」と集った若者の集団です。

山にでも行こうかと思う人間は、一風変わった奴が多いようですが、我々の仲間もその例にもれず、少しおかしなのが大部分です。ゲレンデの真ん中で虫声をはりあげて歌ったりするのはまだまだな方で、民宿の屋根裏部屋でジャンカを踊って、窓から一勢放水してどなりこまれたりもした。馬鹿というか、天真ラン慢という

か、とにかく愉快な仲間です。

しかし、山に行っていると楽しい出来事ばかりでなく苦しいことつらいことも何度かありました。

五月の北アルプス剣岳でスキーをかっいで岩登りに行き、悪雪に苦しめられ、夜も遅くなってからやっとの思いで小屋に帰りついたこと、雪の穂高で雪崩れに巻き込まれそうになり、あやうい所で助かったこと、台風接近のため35km程のザックで二日の行程を一日で歩いたこと、嵐でテントが飛ばされぬよう、一晩中支柱をおさえていたこと、乏しい食料で二〇日間も頑張って剣で岩登りにはげんだこと等他にもいろいろあります。山のベテランから見ればよくあることでしょうが、僕達にとってはやはり苦しい試練でした。

また朝日に輝く新雪の峰、壮大な雲海の彼方に沈んでいく夕日、月の光に青白く光る雪の山、そして降るような星空と美しい自然に出会い、涙が出るほど、感激したこともあります。僕達は山から帰って来るといつも、一段とたくましくなった、そして何か充実した自分を発見します。

青春時代に、大自然に親しむという大きな喜びを味わえて、僕達は本当に幸福です。

こうして大自然から学びとった種々のものを、いつまでも大事に



中央アルプス空剣岳山頂で、岡上兄弟

していきたいと思います。

ヒマラヤ、ヨーロッパ、アルプス等、氷河のある山に行つて、スキーを積極的に取り入れた登山というのを、どんどんやってみたいし、僕達だけのプライベートなヒュッテというものも持つてみたいし、夢がどんどんと広がっていく今日この頃です。三月九・十二日僕達のホームゲレンデである、北アルプス、白馬岳山麓梅池高原で、メルヘン・アルパイン・スキーグループ主催の、スキースクール（会費九千八百円）を計画しています。上手になりたい方、自然に親しみたい方、馬鹿騒ぎの好きな方、ご連絡ください。一緒に滑りましょう。街やゲレンデで僕等を見かけた方、気軽に声をかけてください。スキーの話でもしましょう。

シーハイパー。

□連絡先／芦屋市三条町二一〇 TEL 0797・22・3488 三輪方

No 9081 ステンレス製 36,000円



美しい時計をつくり続けてきました
スイスで1791年から……

永久に正確な時を刻むジラルール・ペルゴー。香り高い芸術の気品をしのばせるデザイン。世界に誇るスイス時計の逸品です。

GIRARD-PERREGAUX

特約店
美甲時計店

元町店・元町三丁目 TEL.331-1798
三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL.331-8798

□れんさい随想〈2〉

東京 ↓ 神戸 引越し騒動

—この連載随筆に人工着色剤や合成甘味料は一切含まれておりせん—

筒井 康隆

え・田中 徳喜

家の形は次第にととのってきて、それらしくなりはじめたものの、当初考えていた予算より大きくはみ出してしまったため、おれは資金造りに躍りとなった。家ができていて、建具も畳も入っていないという状態が数ヶ月続いた。これでは不要心であり、放ったらかしにしておいたのでは家がいたんでしまう。早くなんとかしなければならぬ。おれは、あせりにあせった。

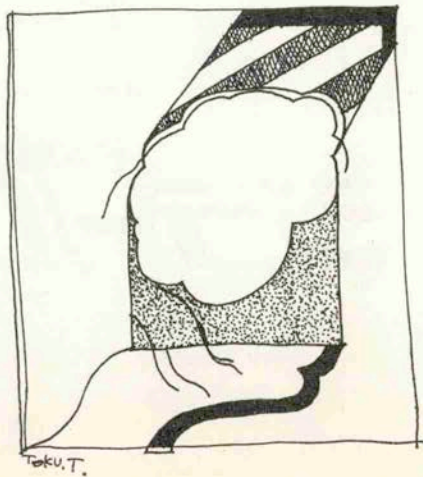
海の見える高台にある家なので、海岸の方から吹きつけてくる潮風が強い。おれがいちばん心配したのも、この強い潮風が建具のない家の中を吹

き抜けて、家をぼろぼろにしてしまうのではないかということだった。

金が少し貯まるたびに、神戸へ持って帰り、畳代、建具代、電気器具代などを少しづつ払った。

そのたびに家の中を掃除した。

神戸へ帰るたびに、市内あちこちのうまいものを食べ歩いたため、店の名前をだいたい憶えた。いちばん多く出かけたのは中華料理である。第一楼、神仙閣、東天閣など、いずれも東京では味わえぬ美味、珍味に出くわしたが、中でも東天閣の料理などは、中華料理とは思えぬ淡白な味で、非



常にうまかった。料理もさることながら、神戸の有名な中華料理店の建物は、いずれも気品があって、どこことなく渋い風格がある。

あとで、文士劇の楽屋で陳舜臣氏から聞いたところによると、こういった店はみな、昔の外人屋敷を改装したものだそうだ。なるほど内部の設計が凝っていて面白い筈である。

一杯飲みながら腹をふくらませるのには、キングス・アームスがいい。おれはこの店ではステーキを食べながらウイスキーを飲む。

日本料理も好きである。神戸の日本料理は魚にかぎる。花寿司や、うおじまへも行った。うおじまには大きな生け簀があり、指定した魚をすくいあげて料理してくれる。この店のことは何かの機会に別のところで書こう。

さて、いよいよ金がなくなってきたので、おれは東京の家を担保にして銀行から金を借りようとした。だが、貸してくれない。ローンが終わっていないのでは、担保にならないというのである。面倒臭くなって、早いとこ売ってしまおうかとも考えた。しかし売ってしまうと、東京での仕事場や足場がなくなってしまう。ホテルで仕事すればいいという人もいたが、そうすると連絡場所がなくなってしまうのである。なぜかという、垂水の家に電話がついていないからだ。

最初に垂水の電話局へ出かけたのは、家を建てはじめて間もなくのことだった。だが、まだ住んでいないのなら申請することはできないといわれてしまった。よく聞いてみると、まず申請があり、申請があつた家へ、住んでいるかどうかを局の人が確かめに行くのだそうである。住んでいることがわかってから一年ほどかかって、やっと電

話がつくというのだ。つまり、おれが申請したところで、家具の揃っていない家には住めないからおれは東京にいるわけであり、垂水の家には住んでいないのだからその申請は却下されてしまうわけだ。だから「電話がつくまで東京に住む」ことにすると、いつまでたっても電話はつかない。思いきって電話なしの家に住んだらどうか。だめである。最近の編集者はせっかちだから、電話を持つていない作家には仕事なんかくれない。一年間電話がなければ、干乾しになってしまう。といって、まさか作家ともあろうものが、

「エー小説の御用はごさいませんか」
註文とりに出版社まわりをするというわけにも
いかない。

おれはしかたなく、東京と神戸間をのべつ往復しながら仕事をすることにした。交通費が高くてくが、しかたがない。

垂水の山手には、最近急に団地がたくさんでき、人がふえた。最近ほどの家庭にも電話があるから、そのために申請が多く、ひいてもらうのに一年もかかるのだらう。垂水も、もう田舎じゃないな、と、おれは思った。国電垂水駅周辺など、もはや小都会の様相を呈しているのだ。

快速電車が、もうすぐ垂水駅に停車することに
なる——そんな噂を聞いたのも、そのころであ
る。

△作家▽

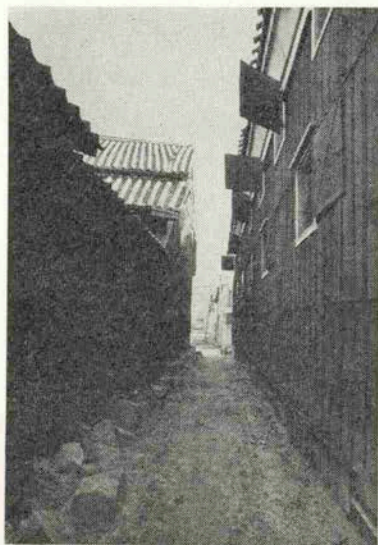


灘の酒 京の酒

八尋不二

いつか酒の本を書いた時に、酒の神様の松尾神社に詣ったら、全国から実にさまざまの銘柄の酒樽が何百というほど社頭に積み上げられていたが、その中には大楠公というのがあるかと思うと、正成というのがあり、その下に正行というのがあった。産地は確めなかったが、あれはきつと灘か、灘でなくても神戸近在の酒に違いあるまい。

灘の酒というと、私は不思議に「白鷹」「白鶴」「白鹿」「白雪」と「白」のついた銘柄を思い出す。どういふものか、京の酒には三十三種の銘柄に「白」のつくものは一つもない。「白」にどんな縁起があるのか、せんぞ、酒博士の坂口謹一郎



灘の里

さんとお目にかかった時に、うかがっておけばよかった、と後悔している。

灘の酒で、今迄、私が一番御厄介になったのは、「菊」と「桜」の両正宗に、「日本盛」である。頼山陽が「劍菱」を愛好したことは有名だが、山陽に限らず、当時は「劍菱」は最高の酒だった。私も、御多聞に洩れず、辛口の方なので、菊正宗や劍菱が好きだが、他の酒と同様、だんだん標準化されて来たというか、個性的な味がうすれて来て、御家庭で御婦人にも好まれる、といった甘口の酒が多くなったようで、そこに女性的といわれる京の酒が進出して来た原因があるように思う。京の酒といっても、今では伏見の酒をそう呼ぶ

のであって、伏見が京都市に編入されるまでは、京の酒といえば、古い京都の市内で小規模に造られる酒のことだった。

灘の宮水と同じく、豊富な地下水を持つ伏見の酒が「月桂冠」だの「松竹梅」「キンシ正宗」「明けごろ」など、大量生産に乗り出してから、急速に東京方面へまで進出し出したのである。

いつの間にか、私も酒のみの一人に数えられるようになってしまったが、私の酒量なんて知れたものだ。それにやはり明治生まれのせいか、七十に近くなって、めっきり酒量が落ちた。いや、飲むのは同じように飲むのだが翌日がいけない。忽ち宿酔で終日ダウン、ここらが若い人と違うところである。

京都に四十年以上も住んでいるので、ぶらりと街へ出て、さて一杯、という段になっても財布の心配をする必要がない。これが東京だと飲んでいても、さて、この家はいくら位とるのだろう、と考えたりすると、おちおちと飲んででもおられない。だから京都は有難いのである。ほろよいの、ちよつとばかり御機嫌になって馴染の店の二、三軒も廻っていると、必ずどこかで酒友の顔がおり「やあ、やあ」ということになってしまう。

最近、神戸でも、ちよくちよく酒をのむ会合があつて、これはまた趣が變つて、大へん愉しいのだが、どうも京都まで帰らねばならぬと思うと、飲を尽す、というところまで行けないうらみがある。だから今度神戸で飲む時は、ホテルでも予約しておいて、腰を据えて飲んでみよう。そうしたら灘の酒の醍醐味を、充分に味わえるというものだ。

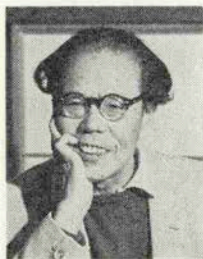
最近、灘の酒にはあまり見られないが、京の酒で、一部の愛酒家にひそかに愛用されているものに「にぎり酒」がある。白くて、甘酒のように見えるが、いわゆる「どぶろく」ではない。濁酒は酒税法で販売を禁止されているが、これは「どぶろく」でも「おり酒」でもない。「中汲み」という酒である。とろりと、豊醇で、梅原竜三郎、井伏鱒二、山本嘉次郎など、東京の名士たちにも愛飲家が増えて来た。但し、甘口で、口あたりがいいので、つい飲み過ぎ、腰を抜かすことがあるので御用心、御用心である。

私の飲み友だちを挙げればきりがながないが、京都では歴史学者の奈良本辰也、画家の西山英雄、映画監督の伊藤大輔、森一生、芸大の学長の佐和隆研、交つたところでは天竜寺管長の関牧翁老師など、その酒間の逸話を書き出したら一冊の本になつてしまう。

近頃は神戸には、足立巻一とか赤尾兜子とかの酒友ができ、女トラの望月美佐などもいて、大分、神戸が近く感ぜられるようになった。詩人の竹中郁さんはあまり飲まなかつたと思うが、彼の老ダンディぶりは、いかにも神戸という街に似つかわしい。

酒のことなんか、蓋し、いくら書いたつつまらない。やはり飲まなくっちゃあね。

△シナリオライターV





□ インタビュー／ファッション・デザイナー大菅てる子さんに聞く

新しいレイヤード

昨年十月、パリ・ポルトヴェルサイユで開かれた72年春夏プレタポルテ発表を見て来られたファッション・デザイナー大菅てる子さんを、阪急デパートの仕事場にお訪ねして、最新のパリ・ファッション界の動きを伺った。

—サンローランのオートクチュール廃業宣言など、世界に伝統を誇るパリ・オートクチュール界にも、変動の波が見られるようですが……。

「一九六一年に行った時に見られたオートクチュールのプレタポルテへの兆しも、十年間で見事な転換を見せ、ここ二、三年前からはっきりした線が出て来ました。」

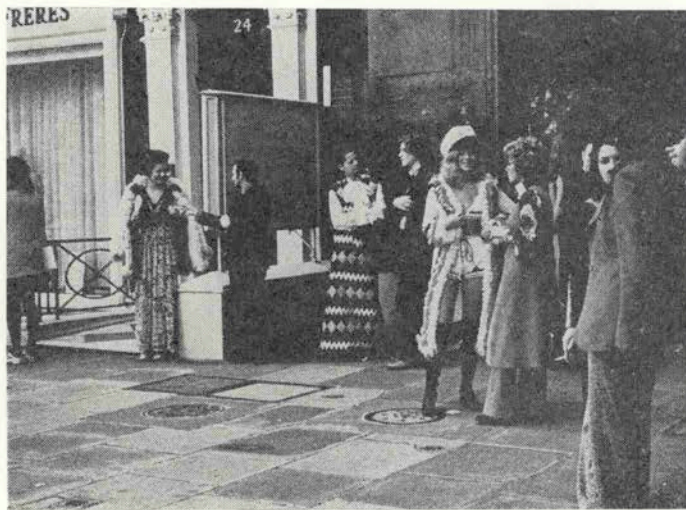
現在、アメリカの資本が入っていないオートクチュールは、ランバン、ジャン・パトウ、マドレーヌ・ロックなど数えるほど。もうオートクチュールの数十万もするドレスを買うお客さんは、世界中でほんの一握りの人達。第一、ヨーロッパやアメリカではそういう服を着るよう

な夜会がなくなりました。イブニングなんかショーに出したあと、貸しに出しているという話も聞きました。

あるオートクチュールでは、アメリカのスポンサーにお伺いをたててから発表したという噂もたつたほど。サンローランに続いてニナリッチのオートクチュール廃業宣言も、他人ごとではないでしょう。

オートクチュールが行き詰まったなんて簡単にいいませんが、アイデアが頭打ちになったというのではなく、経営上のこと。権威ばかりをいってもいられず、プレタを大きくとり入れて、層を抜けないことには。とにかく絶対売らなければいけない。アメリカ人をバカにしていたフランスも、アメリカ人オンリーのカクテル・パーティが、プレタの会場で開かれているほどです。

昨年四月のプレタ発表には、ランバン、カルダン、バルマンなど数社の参加だったのが、十月には、はじめ批



プレタポルテの発表会場に集まっているお客さま。

判していたところもほとんど全てが参加、一月と七月のオートクチュールの時期より、四月と十月のプレタポルテ発表の方に、バイヤーやジャーナリストも多く集まるようになり、この秋の二十二回で、オートクチュールのプレタへの考え方にはっきりした面が出て来ました。

日本人バイヤーもたくさん訪れていましたが、会場内は撮影禁止のため、訪れるバイヤーやジャーナリストたちを入口でバチバチ。みな手で顔を隠したりいやそうなのに、あつかましく。日本人の「アタ野郎」という声もきかれました。日本人の素早さは驚くほど、この秋も星、動物、ハートに矢の通ったブローチを買ってきたら、もう東京、大阪でそれと寸分違わないものがチャチになって出ている。お互いにコピーしながら上達していくという面もありましたが、もう日本のファッション界

の水準はまあまあと許される段階をこえていると思う」
——今一番新しいファッションは？

「パリの街で多く見られるのは、サンローランの肩のはった白いフチのついたブレザー、ランバンの男ものベストとプリーツスカートとの組み合わせ、フレアースリーブ。これから夏にかけては、プレタポルテはひざまでのレギュラーの丈、サロンド・プレタのヤングのものは超ミニ。短いけど、前のミニと違って、フレアーやプリーツ。柔らかい素材を使って大変フェミニン。ちょうどスケートの服やテニスのスカートのような感じで、ストッキングもズバリ同じ色。シャツはボウのついたものやフリルのついたもの、パフスリーブやフレアースリーブなど袖に重点がかかって来ました。

それに、今のレイヤード・ルックがもつと発展した形で、例えば、毛糸の縞のチョッキに花柄のブラウス、チェックのウールプリントのスカートなど、異なった素材と柄を組み合わせるのが人気を集めています。

着こなすコツは、どこか一点共通色をもたせてしめる。例えば、ピンク・グリーン・紺・黒の縞の毛糸のベストだったら、ブラウスは同じグリーンを入れた花柄、スカートもズバリ同じグリーンと紺のチェックというように。パリでは今年はこの赤、このグリーンと決めたら、どの店でも、靴下も靴も、同じ色でそろうのです。日本もそうなると、レイヤードが楽しめるのですが。

この夏は、昨年のデニムに変えるものとして、ギンガム・サッカールが出るでしょうが、チェックのブレザーに無地のパンタロン、縞のブラウス、花柄のネクタイの組み合わせなど楽しいのでは？

買う人に余程のセンスが求められるファッション。サンローランとディオールと、ランバンを組みあわせて着るとか、オートクチュールのブチックでも買うし、サンジェルマンデブレで若者の着るような服も買って組み合わせるのが本当のおしゃれだし、これからのトータル・ファッションであり、プレタポルテであると思います」



呉
邦
保
隆
源

みよこや

神戸店 大丸前
電話 神戸 (331) 321-334
大阪店 阪神百貨店三階
電話 大阪 (345) 9584
姫路店 やまとやしき百貨店四階
電話 姫路 ② 11221番

おんがら屋



きもの と 細貨

おんがら屋

神戸

西店/三宮センター街・電話 331-8836(代)
東店/三宮センター街・電話 331-0629
三宮店/さんちかタウン・電話 331-4303

東京

銀座店/銀座並木通・電話 573-5298(代) ゴフクヤ
渋谷店/東急本店・電話 462-3409(直) (5階和装名物街)
日本橋店/東急日本橋店・電話 211-0511(代) (4階和装名物街) (内線294)
銀座コア店/銀座インペリアルビル 4F 電話 572-8127

酒ありて人生樂し

嘉納 正治 〈白鶴酒造株式会社社長〉
〈神戸商工会議所副会頭〉

中内 力 〈シンエーフーズ株式会社社長〉

★日本人にはやっぱりお酒

中内 最近、貿易の自由化がどんどんすすめられ、洋酒も一昨年から自由化されて入ってきていますが、むこう

の攻勢に対していかがですか。

嘉納 洋酒協会理事長の佐治君なんかは、洋酒といってもピンからキリまであるから、といって自信もってますよ。これは一般論ですが、日本人は外国品に対して非常



嘉納 正治 氏

に弱い。

中内 舶来崇拜の感覚がまだ根づよく残ってますね。

嘉納 もうそろそろ脱しないとあかん。

僕らはやはり日本酒がおいしいね。PRになるけど(笑)
中内 やはりそれは慣れてしょうね。味覚というものは私は慣れたと思うんです。私も仕事で海外へあちこち行っていろんなものを食べるんですが、名物料理というのは、我々にはかならずといっていい程まずいんですね。

「味覚」というのは自分の身体を守る、という防衛本能があるでしょ。へんなものを食べるとあたるかもわからないし、死ぬかもわからない。そして地元の名物料理というのはその土地に根づいた非常に特殊なものが多いので、変わったものというのは外来者にとっては最初まずく感じられる。しかし、自分で口に出して「うまいなあ」というと、何となくうまいような気がしてくる(笑)

嘉納 僕も、以前フランスのブドウ酒屋さんへ行った時に先方さんが「いいものをご馳走してあげよう」といわれるので、期待して待ってたら、そこに出てきた料理とい

うのが、何と牛の脳みその白炊きやね。このブドウ酒とこの料理が一番合うというんでそれを食べさせられた。「なるほど結構な味ですね」というと、「おかわりしてあげましょう」とくる。「いや、もうたくさんです」といってもきかない。牛の脳みそだ、なんていわれるととても食べる気にはなれんわな(笑) ほめたためにえらいことになった。その時、おせじというのもうっかりいえないな、と思った(笑)

ところで、日本人の食生活が変わったといわれるが、まだ日本人のほとんどはカロリーの大部分を植物性蛋白質から摂取している。いわゆる米ですが、その米から吸出したアルコールが日本人の体質に合っているように思いますが、醸造酒は栄養価があるから、ある程度腹にたまる。

日本人は食生活上、満腹感というものに重点をおきますね。しかし、この前も僕は医者に行って「腹八分目に医者要らず、といわれるけれども、腹七分にしなさい、そうしたらもつと健康になりますよ」といわれた。日本人はどうも満腹にならないと食べたような気がならないんだなあ(笑) 欧米人は肉類を相当食べてるようだけど、案外簡単でしよ?

中内 肉は食べますけど、あとは野菜とかそういうものもたくさん食べますね。

嘉納 日本人の洋食いうたら、フルコースたべさせてもらわんと洋食たべたような気がせんのだから(笑)

中内 日本人というのは欧米人に比べると腸の長さが長いそうですね。そのために身体も胴が長くて足が短いという体型になつてる。

腸が長いということは、それだけ植物性ものを消化するのに適しているということですよ。



氏力 中内

★時代と共に変わるお酒の飲み方、飲ませ方

中内 日本酒はやはり季節に影響されますか。

嘉納 気候には影響されますね。やはり「お寒ノ」という気持がせんと「一杯いこか」という気になれない。ビールだと暑いと飲みますが、ビールだって日本のような湿気が多い風土だと、本当にビールが飲みたくなるのは少ないはずですがね。しかし私はこの頃、季節性はずせといってるんです。今は暖房もいきとどいていますから、夏でも冬でも日本酒をどうぞ(笑)

中内 食事にしても、お酒の飲み方にしても、日本人の場合は今まで非合理なところが多いですね。

嘉納 それも、これからはだんだんと啓発されて変わってしょうね。合理的に飲むとなれば、早く酔うということですが、しかし、日本酒の場合はアルコールの濃度だけではかならずしもいいとはいえません。今のところ統制されていて、酒の規格がどれもこれも似かよっているのです、昭和四十九年以降の近い将来は銘柄別の特色をもつということになりましたが、今のところは日本酒の場合、級別で拘束してるでしょ。これを改めてもらわないと新製品についても0.5ポイントぐらいのアルコール度数の違いで、差のつけようがないですよ。

若い方は酔うということが一つの目的かもしれません、楽しんでみながら、味わいながら飲むということも大切ですよ。お酒は血管を刺激して、分泌物をよくし、消化を助けるので、ワインと同様に少しづつたしなむということはいいいことです。

中内 ヨーロッパでは食事にワインというのはつきものだからね。アメリカ人と日本人が食事にくると、水を注文して笑われるそうです(笑)

嘉納 水なんてヨーロッパではもってこないからね(笑)
中内 水は金を払って買わないといけない。ですからワインを飲むのが当たり前になってる。

嘉納 この頃洋式のパーティだと思ったり、焼鳥やさし

み、寿司もあるんだから、わたしらも遠慮しなくても、洋式のパーティでも日本酒をおかしてもらうようにすることも考えたらいいんじゃないかと思うんですよ。ただ酒ということになりますと先入観があるわけですね。いやー、おさしみだの、酢のものなのだという、そういう観念はこれからの時代は向かないと思うんですがね。

中内 最近になって日本的なパーティというものも考えられてきたと思いますね。ホテルや、洋食を主体としているレストランも、今まではヨーロッパの真似をするのとで精いっぱいだった。ヨーロッパのスタイルをそのまま真似して、それを日本で再現するということばかり考えて、お客さんが日本人で、日本人のお客さんが喜びられるものを提供せないかんということが最近まで非常に薄かった。最近になって、それではいかんというので洋式のパーティにも、寿司やそばやた焼など日本的なものも加えた方がいいじゃないか、というような考え方に変わってきてますね。

嘉納 洋式のパーティに天プラまであるんだからね。

中内 パーティといっても、あくまで食事を楽しむためのもので、あまり形式ということにとらわれすぎるのは間違いですよ。日本人はもって食事を楽しむとかパーティを楽しむということを勉強しないとイケないと思いますね。

嘉納 酒も時代と共に、飲み方、飲ませ方ももつと変わってこないとおかんとお思いますよ。日本でも昔だと、お座敷ではまず「お一つ」といって酒をついだものだ。ところが近頃は花柳界の人でもはじめから「おビールですか、ウイスキーですか」といいます。芸者さんでも「わたしお酒あきませんねん」という娘がおるんやから(笑)酒は酸性だ、そこでチヨットアルカリ性の海苔だとか、ワカメの揚げたやつだとか、くわいのスライスしたやつなんかで飲むと飲めると思うんですがね。それから懐石膳の所に、はじめからビールのコップをのせておくというのがおかしい。おちよこだけのせといたらないの

に。

中内 そのへんにも、何でも飲むという日本人の多様性があらわれていますね。

嘉納 こんなぜいたくな国ありませんよ(笑)

★郷土芸術の発掘を

中内 神戸の街はいかがですか。

嘉納 神戸のようなアット・ホームな町ないですよ。30

分たらずで海でも山の土でもすぐいけるし、食べ物も豊富にあるし、安くても、うまい。東京へ行けばほとんど関西料理だしね。

神戸は昔からハイカラな街だった。僕は神戸っ子というのは好きだなあ。開放的というか、紳士的なところがある。いい意味でスマートさがあるね。

しかし神戸は港という



「日本人はやっぱりお酒だね」と嘉納氏(左)と中内氏

今後の問題になるが空港というものは慎重に考えないといけない。三回もテスト飛行して騒音を調べたが、飛行

機の音よりも街の中の騒音の方がよほどひどい(笑)

飛行機も発達し、それを利用する人の数も、仕事やレジャーを含めてずいぶん増加して、日常生活の一部になりつつある今日ですから、もう一つや二つの国際空港はあつていいし、つくるのならできるだけ騒音の少ない海の上ということになりますね。船舶の航行に障害があるといけません、その点は技術的に解決できるのとちがいます

か。港あつての神戸ですから、交通機関の変遷と共に空の港も必要だと思えますが。

中内 神戸は開港して百年を過ぎたわけですが、その間日本の玄関としての役割を果たしてきましたが、これは単に品物が入ってくるだけじゃなくて、文化とか文明が入ってくる窓口としての役割もあつた。それが戦後、船から飛行機に移りつつあるわけですね。

嘉納 国際社会での活躍という点においても、神戸市民の福祉ということを考えて場合でも空港は必要ですね。

それから一つお願いがあるのですが、兵庫県には民謡とか郷土芸能などもなかなかいいものがあるので、それから県と市が協力して、もっと保存、育成するようにしてもらいたいと思うのです。

中内 その点、白鶴美術館ではいろいろと努力されていますね。

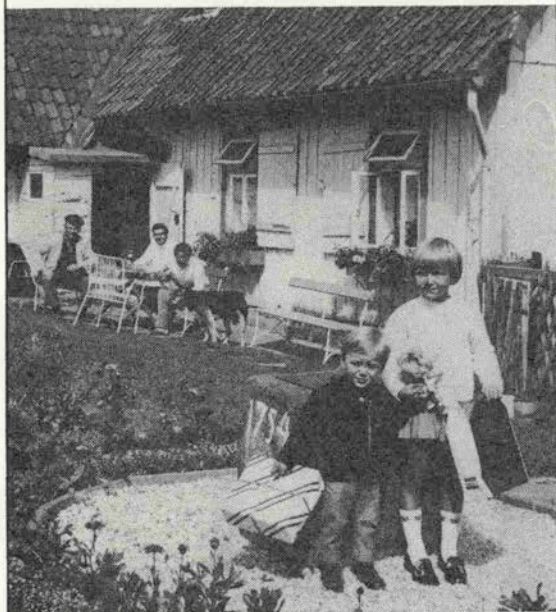
嘉納 あれも美術館法に基いて、年間一五〇日は開館することが義務づけられているのですが、美術品に対する一般の方の認識ができてきたのは嬉しいことです。美術工芸品について今のよう「やすり」や「ドリル」や「刃物」があつたわけじゃないから古代においてあれだけのものをつくるというのは並大抵じゃなかったと思いますよ。あまり文明が進むと、人間には退化してしまう面もありますね。

神戸は瀬戸内海国立公園の一角ですから、観光資源といつてもレジャー用だけじゃなくて、もっとゆつたりと楽しめる文化的なものを発掘して、郷土美術や郷土芸能にもこんないいものがありますよ、ということをもみんなに知ってもらうようにしたいですね。

—— 文責編集部

△ 竹葉亭にて △

ドイツで生れ
日本で育った
ドイツ菓子 ユーハイム



ドイツ菓子

Falkeim's

ユーハイム

本店 三宮生田神社前
TEL (331) 1694
三宮店 三宮大丸前旧市電筋
TEL (331) 2101
さんちか店 三地下
スイーツタウン
TEL (391) 3539
心斎橋店
TEL 06 (252) 0925

入学, 進級, 就職に備えて
正しいメガネを作りましょう



MAKE UP すばらしいあなたに…
WITH ROYAL

めがねの御用命はお気軽に神戸眼鏡院で御相談ください。

★自動車にてご来店のお方は駐車券進呈!

元町店=神戸市立花隈駐車場

さんちか店=神戸市立三宮駐車場

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

Kitamura Pearls



新しい春の装いに
日本の美しさを創る北村パールを

北村真珠店

元町通 2 丁目 60 TEL. 331-0072

まだ少し冷たい
春の風 やさしい
毛皮で……………



マキシンの帽子のおもとは
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座 3-2
TEL (078) 331-6711-3 TEL (03) 535-5041

経済ポケット ジャーナル

★神戸経済同友会代表幹事に、下川常雄氏を選任

神戸経済同友会は一月十二日の幹事会で、四十七年度の代表幹事に下川常雄住友ゴム工業社長を選任した。



下川常雄氏

二年交替の恒例から、三月末で任期の切れる神戸銀行頭取の石野信一氏は、昨年代表幹事をつとめた正興産業社長の秋田博正氏と新任の下川常雄氏にバトンをつタッチ。秋田氏は「転換期の経済人として、企業の社会的なあり方といったテーマや、空港問題を含めて地域開発に地道に取り組みたい」と抱負を語った。

一方下川氏は東京帝大経



済学部卒後、住友電気工業に入社。昭和三八年住友ゴム工業常務取締役就任、四四年社長に就任し現在に至る。下川氏は「住友ゴム工業の社長に就任して二年、マンネリにならないよう勉強しようと思ったこと、それから住友ゴムも経営が軌道に乗ったので地域社会に尽くす必要を感じたこと」の二つを代表幹事を引きうけた動機として語った。

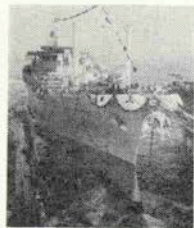
★灘神戸生協が、西宮に「生協百貨店」を建設予定
灘神戸生協(次家幸徳組合長)は、このほど阪急西宮北口駅前に「生協百貨店」を新設する計画を明らかにした。

同生協が計画している百貨店は、西宮市甲風園一丁目にある西宮北口店の隣に新設するもので、鉄筋コンクリート地下一階、地上四階。敷き地は約千六百五十平方メートルあり、売場面積は約六千平方メートル。

こほか約千平方メートルの駐車場を近くに設ける予定で投資額は土地代を含めて約十三億円。二月から工事にかかり十月には開店する予定。同生協の今回の百貨店新設は「組合員の消費の多様化に伴って、ファッション商品。耐久消費材まで商品構成を高度化したい」というものだが、この生協百貨店の新設に伴って、中小小売商の反発もでてきそうである。

★巡航見本市船、新さくら丸進水

世界各地に日本の産業を広く紹介する巡航見本市船「新さくら丸(一三、九〇〇ト)」がこの程、三菱重工神戸造船所で進水、スマートな白い船体をミナト、コウベに浮べた。船そのものが日本を代表するようにつくられたという新さくら丸はブリッジが船尾に近いユニ



進水する新さくら丸

ークなスタイル。沖繩航路の客船へと転身することになった、初代のさくら丸(一二、六二八ト)よりひと回り大きく、長さ一七五・八メートル、深さ一四・八メートル。速力も増して最高二三・三ノット。とくにご自慢の最新設備は米海軍の航行人工衛星(NNS)からの受信装置で、どんな悪天候の時でも安全に航行できるよう船の位置を測定できる。

処女航海は来年七月、ヨーロッパ十カ国を四カ月間にわたって訪問し見本市を開く予定。その後、一年半から二年に一度の割り合いで世界各地を歴訪する。

★KOBE オフィスレディ★



黒田京子(19歳)

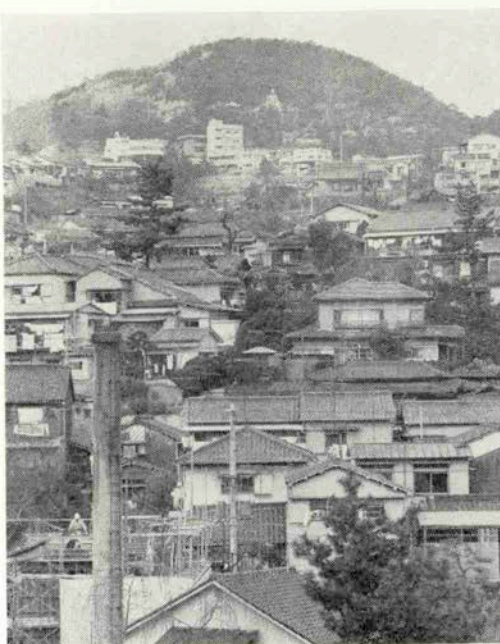
菊正宗酒造株式会社総務課受付

戸ビラを開くと、内藤洋子によく似たムードのチャームアップなお嬢さんがにこやかな笑顔で迎えてくれる。その人黒田さんは受付をはじめてまかされた頃はお客様の顔を覚えるのが大変だったそう。酒屋という古い昔からのイメージの中で、現代的なフレッシュなセンスのあるチャームポイントを創っているようだ。夢野台高校卒。長田区在住

神戸のアーバンデザイン 環境と都市(2)

水谷頌介+チーム・UR

59



丸山地区の大混乱な風景



新しい鶴甲団地と住宅街

山の緑の破壊という罪をおかしてはいますが、しっかりと、山された新しい造成住宅地のシルエットは、それなりに美しくダイナミックな景観です。海の埋立地も同様です。ところが、そこへ住宅や建築物・施設が建ち出したらどうでしょう。かたちとりどり、色とりどり、材料・テクスチャーとりどり、見る間に大混乱になります。まさに、建築公害—環境破壊が進行します。建築を建てることそのものが、環境の破壊なのでしょう。決してそうではありません。大自然のなかの寺院、神社の大伽藍の例を考えてみてください。建築物が建ってこそ、その環境は映え、また、しっかりとそこに人間の文化がわき起る力が感じられるではありませんか。

また、農村風景のなかの集落、また、街道や港、お城につながる街や、村や、町家具を頭にかかべてみてください。

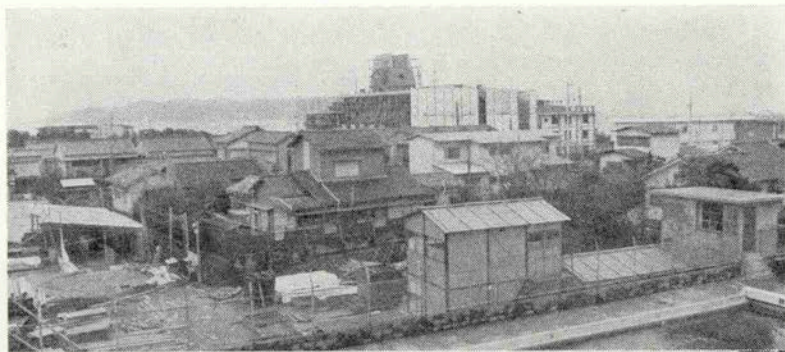
こういった傾向は新しい開発市街地に限りません。旧い市街地への公共施設整備を目的とした、例えば、住吉・御影のお屋敷住宅地の最近の光景はどうでしょうか。道路を広くするために、地域性豊かな御影石の自然立石を積み重ねた塀がくづされていきます。立派な庭の年月のたつた樹木が乱暴に切り倒されています。ゆつたりした瓦屋根の住宅に変わって、コンクリートのペンシルビルが乱立していきます。いい住宅地というのは、いわばその都市の財産です。先輩がつくってきた街を安易に破壊することが、現代の建設の仕事ではないはずです。神戸・阪神間のいい住宅地が、次から次へと安っぽい住宅地になっているというこの事実を、皆さんでしっかりと確認しなければなりません。市民も行政側も、設計家も建築業者も……。

(水谷頌介)

環境と都市
神戸のモダンリビンゲ

59

水谷顕介＋チーム・U・R



垂水の風景をシャダンする
マンション



北野町をの風景をアウトに
するマンション

★時間をかけて築きあげてきた落ち着いた住心地や、しっかりとした街なみのなかへ、ある日突然に殴り込みをかけて入りこんでくる新しい建築物、その一つの建築物のために、多くの人々が長い時間をかけて、生活の知恵をかたむけて、貴重な投資をかけてきつてきた生活環境が、いとも安易に破壊されてしまう現実が、いたるところで発生しています。

一つの建築物の投資とひきかえに生じる数倍ものマイナスです。

こんなことのかえしでは、いつまでたっても社会資本、社会環境の充実や蓄積は達成できません。

一つの建築を環境のなかへ建てる——仲間入りさせるためには、その建物だけ満足させればいいというのではなく、いろいろの側面にわたった周囲への配慮が必要です。

静かななかへ大きな音をかなでる騒音源にならないか、日照・通風に変化をきたさないか、子供たちに危険を与える交通発生源にならないか、また、ゴミや汚水をまきちらす要因にならないか、などです。

環境への責任がない建築を許すことは、市民共有のこの都市住宅地の破壊につながります。

歴史の蓄積を評価し、尊敬し、それにたえ、その環境に仲間入りが出来ると建築を設計し、建設していくことが、街づくりへの市民参加の第一歩です。

そういった市民がつくりあげる都市と、その歴史的蓄積ということへのしっかりと意識が、建築行政・都市計画行政にも欠けています。そのために、美しい神戸の街がどんどんきたなくなっているのではないのでしょうか。

(水谷顕介)